

塩酸ブホルミン錠

Buformine Hydrochloride Tablets

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 VmL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中に塩酸ブホルミン(C₆H₁₅N₅·HCl)約 5.6 μ g を含む液となるように水を加えて正確に V μ mL とし、試料溶液とする。別に塩酸ブホルミン標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、水に溶かし、正確に 100mL とする。この液 2mL を正確に量り、水を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 233nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

塩酸ブホルミン(C₆H₁₅N₅·HCl)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 18$$

W_s : 塩酸ブホルミン標準品の量(mg)

C : 1 錠中の塩酸ブホルミン(C₆H₁₅N₅·HCl)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
50mg	15 分	80% 以上

塩酸ブホルミン標準品 「塩酸ブホルミン」。ただし、乾燥したものを定量するとき、塩酸ブホルミン(C₆H₁₅N₅·HCl)99.0% 以上を含むもの。

塩酸ブホルミン腸溶錠

Buformine Hydrochloride Enteric-coated Tablets

溶出試験

〔pH1.2〕本品 1 個をとり、試験液に崩壊試験法の第 1 液 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中に塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)約 56 μ g を含む液となるように崩壊試験法の第 1 液を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別に塩酸ブホルミン標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.028g を精密に量り、崩壊試験法の第 1 液に溶かし、正確に 100mL とする。この液 4mL を正確に量り、崩壊試験法の第 1 液を加えて正確に 20mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 20 μ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、それぞれの液のブホルミンのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 180$$

W_s : 塩酸ブホルミン標準品の量(mg)

C : 1 錠中の塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)の表示量(mg)

〔pH6.8〕本品 1 個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1-2)900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中に塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)約 56 μ g を含む液となるように薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1-2)を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別に塩酸ブホルミン標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.028g を精密に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1-2)に溶かし、正確に 100mL とする。この液 4mL を正確に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1-2)を加えて正確に 20mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 20 μ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、それぞれの液のブホルミンのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 180$$

W_S : 塩酸ブホルミン標準品の量(mg)

C : 1錠中の塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)の表示量(mg)

試験条件

検出器 : 紫外吸光光度計(測定波長 : 230nm)

カラム : 内径 4.6mm , 長さ 15cm のステンレス管に $5\mu m$ の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする .

カラム温度 : 35 付近の一定温度

移動相 : 過塩素酸ナトリウムの薄めたリン酸(1 1000)溶液(7 500) / アセトニトリル混液(7 : 1)

流量 : ブホルミンの保持時間が約 6 分になるように調整する .

システム適合性

システムの性能 : 標準溶液 20 μL につき , 上記の条件で操作するとき , ブホルミンのピークの理論段数及びシンメトリー係数は , それぞれ 3000 段以上 , 2.0 以下である .

システムの再現性 : 標準溶液 20 μL につき , 上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき , ブホルミンのピーク面積の相対標準偏差は 2.0% 以下である .

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
50mg	120 分(pH1.2)	5% 以下
	90 分(pH6.8)	80% 以上

塩酸ブホルミン標準品 「塩酸ブホルミン」. ただし , 乾燥したものを定量するとき , 塩酸ブホルミン($C_6H_{15}N_5 \cdot HCl$)99.0% 以上を含むもの .